

2015 年度事業報告書

2016 年 3 月 22 日 ～ 2016 年 8 月 31 日

特定非営利活動法人 Child First Lab.

1. 事業の成果

法人 1 期目となる本年度は、啓発事業において思いがけない妊娠についての啓発動画「妊娠...? どうしよう」、情報提供 Web ページ「にんしん相談室～教えてエミコ先生～」を作成した。そのうち特に動画は、公開から 3 ヶ月で 13 万回再生されるなど高い関心を得ており、スマートフォンでの SNS 閲覧を主な情報源とする若い世代にアプローチする方法として有益な可能性を示した。

情報技術開発事業では、虐待の被害に遭ったと疑われる子どもに対して求められる、初期のアセスメント（調査・評価）の精度・速度を高めることを目的とした、アプリケーションソフトの開発を進めた。本ソフトの開発は次年度も継続して行う。

情報集約化事業では、研究助成金を獲得し、子ども虐待と地域のソーシャル・キャピタルの関連をテーマにシステムティック・レビューを開始した。

研修・交流事業、多機関連携支援事業は期間が短かったこともあり、本年度は未実施となった。

その他の事業では、情報コンテンツ販売事業として「全国妊娠 SOS ネットワーク」から Web サイト管理を受託した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

【子育て・子ども虐待についての啓発事業】

①思いがけない妊娠に関する啓発動画の作成

望まない妊娠が原因で生ずる新生児及び乳幼児への虐待を防ぐことを目的として、思いがけず妊娠をして悩む女性（特に 10 代の若年層）に対し、とり得る選択肢と相談先を紹介した動画「妊娠...? どうしよう」の企画・デザイン・作成を行い、動画共有サイト YouTube で公開した。動画は全国妊娠 SOS ネットワークのホームページからもリンクされ、公開から 3 ヶ月でおよそ 13 万回再生されている。

(URL: <https://www.youtube.com/watch?v=Mro1hs1DbDA>)

②妊娠・出産に関する情報提供 Web ページの作成

妊娠・出産に関して寄せられるよくある質問を、若年層のコミュニケーションツールである LINE に似せた会話形式で解説した Web ページ「にんしん相談室～教えてエミ

コ先生～」を公開した。①同様、全国妊娠 SOS ネットワークのホームページからリンクされている。

(URL: <http://www.childfirstlab.org/ninshin-faq>)

実施期間	2016年3月～6月
実施場所	法人事務局
従事者の人数	6名
受益対象者の範囲	思いがけない妊娠・出産に悩む人々、自身または近親者にその可能性のある人々（不特定多数）
事業費の金額	0円（無償 Web サービスを使用）

【子育て・子ども虐待についての情報技術開発事業】

①子ども虐待アセスメントアプリの開発

子ども虐待のアセスメント（調査と評価）の信頼性と妥当性を高めることを目的として、カナダ・ドイツ・ウクライナのエンジニア学生と共に、どこでも正確に虐待の初期アセスメントを行うことができるアプリケーション・ソフトのドラフトバージョンを作成した。本ソフトは、①虐待を受けた疑いのある子どもへの話の聞き方ガイド、②キズアザの写真撮影ガイド、③データ送信による通告機能を備えている。各種バージョンとして、子ども自身が SOS を出せるバージョン、通告者（例：医師や教師、スクールカウンセラーなど）の支援アプリ、初期対応者（例：児童相談所職員や警察官など）のより詳細な初期調査支援ソフトを開発中である。

実施期間	立ち上げ～現在
実施場所	日本・カナダ・ドイツ・ウクライナ
従事者の人数	10名
受益対象者の範囲	子ども虐待被害者、及び被虐待児と接する可能性のある職業につく人々（不特定多数）
事業費の金額	60,642円

②虐待再発率を予測するアルゴリズムの開発

支援者の意思決定をガイドする情報を提供するため、AI を用いて虐待再発率を予測するアルゴリズムの開発を開始した。現在、畳み込みニューラルネットを用い、データ収集と自動分析、即時フィードバックのプラットフォームを開発中である。

実施期間	立ち上げ～現在
------	---------

実施場所	日本・カナダ
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲	被虐待児と接する可能性のある職業につく人々（不特定多数）
事業費の金額	0円

【子育て・子ども虐待についての情報集約化事業】

①システムティック・レビュー「地域のソーシャル・キャピタルは、子ども虐待の発生を抑制するか」

近年、ソーシャル・キャピタル（社会関係資本：信頼感、近隣のつながりの指標）が、地域の心身の健康促進、犯罪防止に寄与するとして様々な分野から注目されている。そこで、ソーシャル・キャピタルの豊かな地域に居住する親の虐待発生に関する国外の先行研究を系統的に収集し、疫学におけるシステムティック・レビューの手法を用いて結果を統合して、現在までの包括的な知見を発表することを目的とした研究を開始した。2016年12月までに、研究成果の一部を日本子ども虐待防止学会学術誌に、2017年3月までに英文専門誌に投稿予定である。

実施期間	2016年4月～現在
実施場所	東京大学、ハーバード大学、信州大学ほか
従事者の人数	12名
事業費の金額	0円

【子育て支援者のための研修・交流事業】

【子育て支援に関する多機関連携支援事業】

当年度は未実施

(2) その他の事業

【情報コンテンツの販売（計画）事業】

①Webサイト管理受託

「全国妊娠SOSネットワーク」が新設したWebサイトの管理を受託した。研修・講演会等の情報を随時更新している。

実施期間	2016年6月～現在
実施場所	法人事務局

従事者の人数	2名
事業費の金額	0円

②動画データの販売

啓発事業で作成した動画「妊娠...? どうしよう」のデータを啓発活動教材として他団体に販売した。当年度の販売件数は1件である。

実施期間	2016年6月～現在
実施場所	法人事務局
従事者の人数	1名
事業費の金額	0円

【子ども虐待に関する研究（受託）事業】

当年度は未実施

以上